

原則4 校を1校に

中間意見は原則4校を1校に統合するとし、①19年4月鳥茂渡小を普代小に統合する

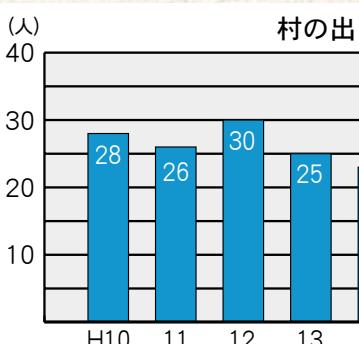
② 21年4月に普代小、堀内小、
黒崎小の3校を全村一校に統合——という二段階で再編す

ことから先行して統合の措置を執ることになりました。

るというもの。
現在全校児童8人の鳥茂渡
小は19年4月には3人になる

とで、8月24日に芦渡地区多目的集会施設、28日に黒崎地区公民館、30日は堀内地区漁

村センター、9月1日には役場でそれぞれ開かれ、中間意見を説明するとともに、住民の皆さんから貴重な意見を伺いました。詳細については来月号でお知らせします。



再編検討委員会での主な意見

◆小学校再編統合検討委員会委員▼普代小PTA会長・森田幸一
▼堀内小同会長・太田吉信▼
鳥茂渡小同会長・高屋敷久人▼
黒崎小同会長・駒木満英▼普代

◆第1回委員会(7月14日・役場)▼(検討に入るのが)唐突な感じだ。遅いぐらいだとと思う。堀内小にも複式学級がある▼鳥茂渡小には家族的な良さがある。統合しても小規模校の良さも加味して、良い学校づくりをしてもらいたい▼「^{べき}僻地は教師が作る」と言つた先生がいた。地域民が僻地を作るということのないようにしたい▼順序とすれば(児童館の統合より)小学校を先に統廃合すべきだつたと思う。アンケート結果を見れば、4校を1校にする方向で話し合つた方が良い▼とりあえず、各小中学校で(PTAと)地域の人と話し合つてはどうか▼統合したほうが良いと思う。黒崎と堀内もスポーツで仲良くやっている。遅すぎた果が上がるものの(来年鳥茂渡小は)3人でどうやるのか。マンツーマンで力はつくが集団による効果は

望めない▼堀内小、黒崎小も含めて考えるより、早く鳥茂渡小のメールを考えるべき。子ども第一に考えましょう▼早急にやるべき。集団でのスポーツ経験も必要だ。村そのものが、(統合)の体制ができているのかどうか心配だ▼4校が一つにとっても、場所はどうするのか。普代小か堀内小か。津波のことも考えなければならぬ▼鳥茂渡小の事情を考えて、2段階にやってほしい▼どうせやるなら善は急げだ。4校を1校に、早急にやるべき▼アンケート結果は現実の生の声と少し違う気がする。(統合については議会でもこれまで何度も話してきたことだ。地域で集まつてもらい、みんなの声がアンケートと同じなか見ていただきたい▼児童館で一緒に子どもたちが、6歳で離れるのはかわいそうだ。(統合が)遅つかれた。将来を担う子どもたちのこと

を（ます第一に）考えるべき▼わたしが聞いている生の声より、アンケートの（統合希望が）低いと感じた。1校になつても1クラス20人以下では、適正な学校教育の規模とはいえない。設備が整い、立地条件など良い環境での統合を望む▼津波の危険を考えると、統合校の場所は慎重に検討すべき。子どもたちのこと最優先で決めていくべきだ▼これまで村では統合までには2年ぐらいいの準備期間が必要と言つてきました

た。4校を1校にとの意見が多いが、鳥茂渡小の緊急性から二段階での統合検討を▼子どもたちのために複式校をなくする再編の検討が必要。堀内小、鳥茂渡小、黒崎小の統合であれば複式学級を解消できる可能性があると思う。地域のことを考えるだけでなく、子どもたちを考え取り組んでほしいことを考えて取り組んでほしい

▼府内検討会での情報提供をお願いしたい▼統合には2～3年はかかると、いう話があつたが、このような状況の由で行政と議会での取り組みが積極的でなかつたと思われる▼鳥茂渡小は早急に対処すべきであり現実問題である。4校を1校にすることは時間的に間に合わない。継続して早い段階に全村1校を願う▼鳥茂渡小について、将来的に3人の学校経営をイメージしてみたらどうか。できることが狭まる、統合は早急な取り組みが求めらわ

る。複式だから大変、良い教育ができるないとの意見が出ていたが、この考えはどうなのが▼全村1校体制の目標年次を定めて取り組むべき事と考える。その中で鳥茂渡小については緊急かつ例外として選考して取り組む必要がある